【概要】　最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト

〇令和2年7月豪雨により甚大な被害が発生したことを踏まえ、最上川中流・上流において、国・県・沿川市町村等が連携し、「最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト」を策定（令和3年1月）し、ハード・ソフト両面で治水対策を推進している。

＜最上川本川の主要事業（国）＞

- 河道掘削工事は、全体計画90万m3に対して、今年度までに約75万m^3（約8割）の掘削を完了予定。
- 白須賀地区（大蔵村）の堤防整備は令和3年度に、長島地区（村山市）の堤防整備は令和5年6月完成。
- 押切地区（河北町）、大久保遊水地（村山市・河北町）においては、令和5年度から工事着手。溝延地区（河北町）においては、今年度から工事着手。
- 横山・大石田地区（大石田町）においては、堤防整備等のための用地調査及び用地補償を実施中。また、今年度から橋梁架け替え工事に着手。
- 百目木地区（大江町）においては用地補償を実施中。
- 令和2年7月豪雨洪水被害の記憶を風化させない取り組みとして、「巡回パネル展」を実施中。

＜最上川支川の主要事業（県）＞

- 災害復旧は、令和4年度までに全箇所（71河川244箇所）完了。
- 白水川の堤防復旧・嵩上げが令和4年度完成。
- 大旦川の暫定調節池が令和5年6月完成し運用開始。
- 新たに河川整備を行う和田川、小鶴沢川、月布川、古佐川、五十沢川の5河川について、令和3年度に河川整備計画に位置づけ、令和4年度に事業着手。
- 水害リスク情報空白域の解消のため、令和元年度までに指定した70河川に加えて、令和６年６月に村山地域の127河川を指定、令和７年５月に最上、置賜、庄内地域の357河川を指定し、県管理河川すべての洪水浸水想定区域の指定が完了。

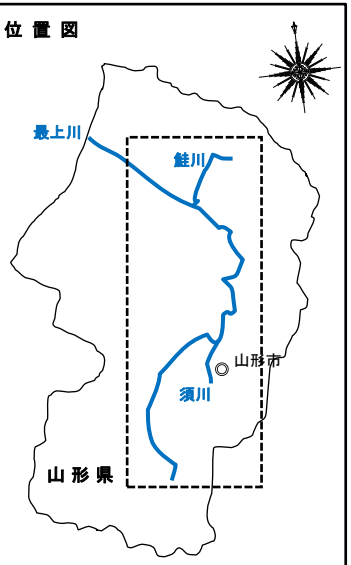
R3.1.29　策定

最上川中流・上流 緊急治水対策プロジェクト

～地形特性を踏まえた河川整備と農業や雪対策と連携した治水対策の推進～

○令和２年７月豪雨により甚大な被害が発生した最上川水系では、河川整備に併せ、地域の主産業（農業等）や豪雪地域などの地域特性を踏まえた農地・農業水利施設の活用や雪対策と連携した高床化などによる対策を組み合わせた流域治水を推進することで、令和２年７月豪雨＜中上流部で戦後最大＞及び昭和４４年洪水（低気圧）＜下流部で戦後最大＞と同規模の洪水に対して、国管理区間での氾濫を防止するとともに流域での浸水被害の軽減を図ります。

位置図



■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

○河川区域での対策

・河道掘削、堤防整備、分水路整備、遊水地改良 等

○集水域での対策

・砂防堰堤等の整備
・雨水幹線の整備、貯留管
・利水ダム等２５ダムにおける事前放流等の実施、体制構築（関係者：国、山形県、東北電力(株)、土地改良区など）
・森林整備・治山対策・水田貯留（田んぼダム）
・農業用排水機場等の整備
・下水道施設（処理場等）の耐水化

■被害対象を減少させるための対策

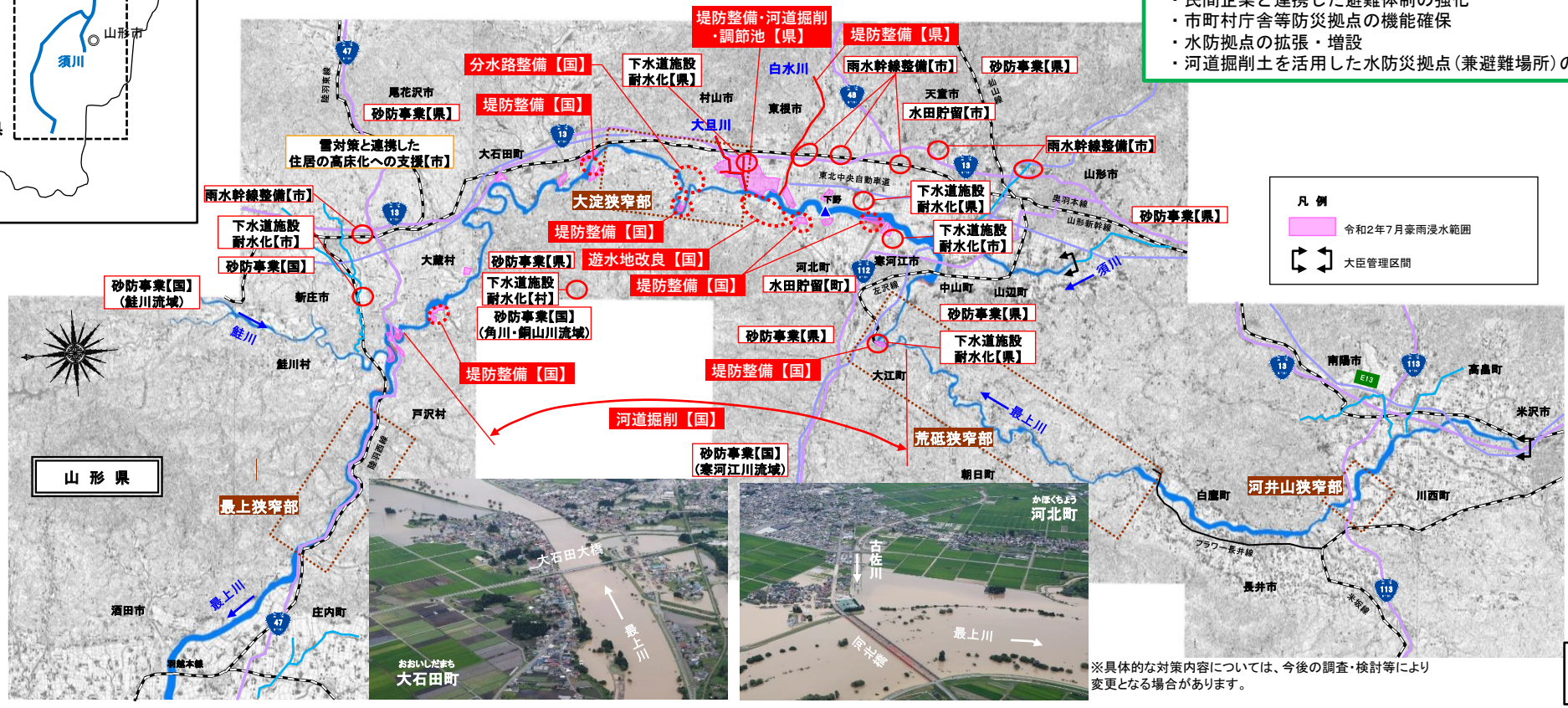
○氾濫域での対策

・災害リスクを考慮した立地適正化計画の作成及び居住誘導
・土地利用規制・誘導（災害危険区域等）
・家屋移転、かさ上げ補助制度の創設
・雪対策と連携した氾濫被害の軽減（高床住宅等）

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

○氾濫域での対策

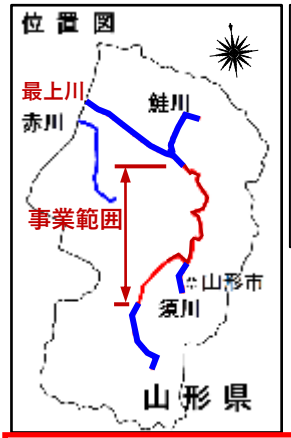
・水害リスク空白域の解消
・危機管理型水位計の設置
・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
・R2.7出水の課題を受けたタイムラインの改善
・流域自治体との洪水対応演習
・講習会等によるマイ・タイムライン普及促進
・メディアと連携による洪水情報の提供
・まるごとまちごとハザードマップの促進
・広域連携による避難態勢の強化
・民間企業と連携した避難体制の強化
・市町村庁舎等防災拠点の機能確保
・水防拠点の拡張・増設
・河道掘削土を活用した水防災拠点（兼避難場所）の整備



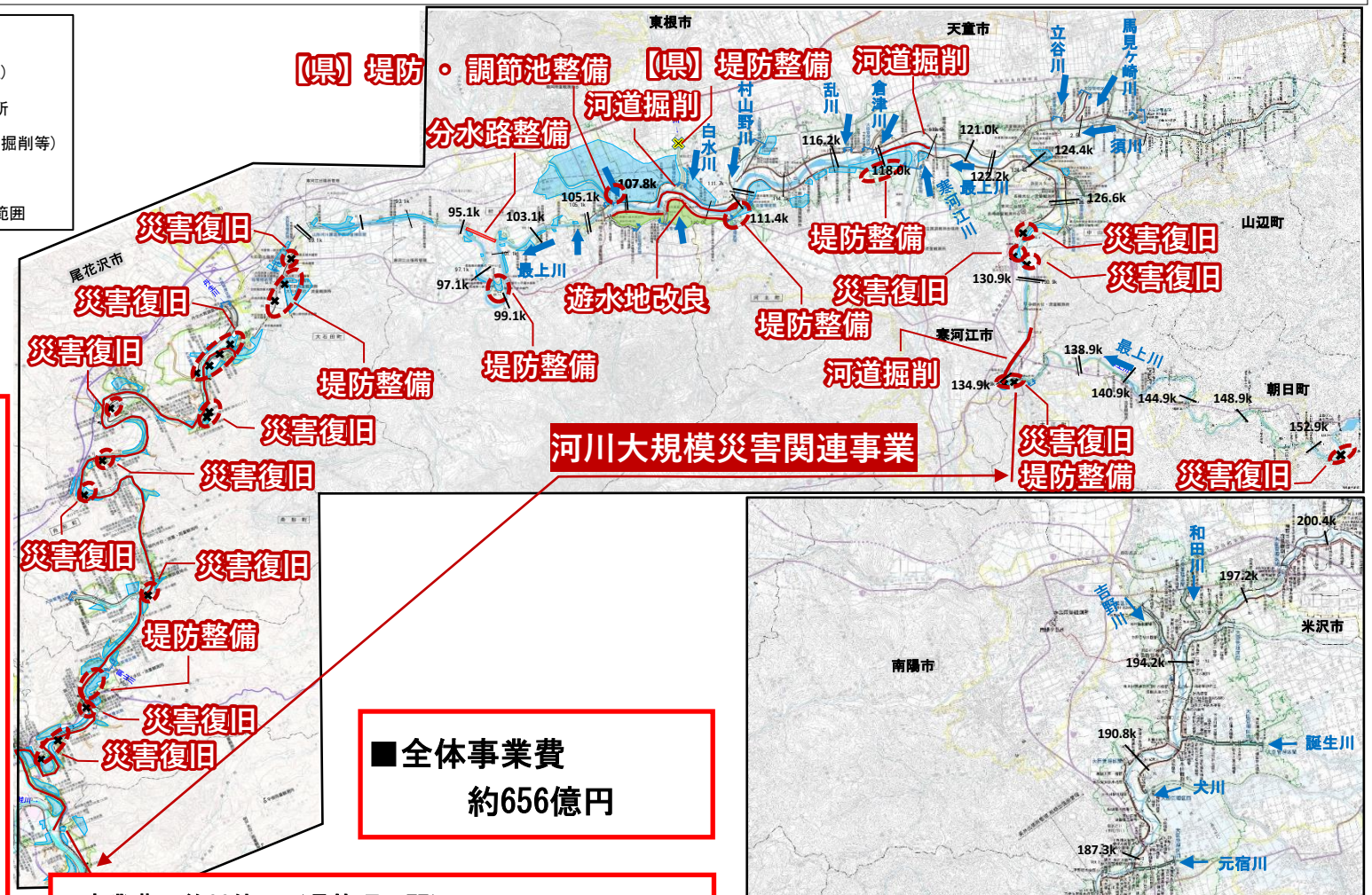
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

「最上川緊急治水対策プロジェクト」

○令和2年7月豪雨により、甚大な被害が発生したことを踏まえ、最上川中流～上流において、国、県、市町村が連携し、被災した箇所において、集中的に再度災害防止対策を実施します。事業の実施にあたっては、地域の皆様と調整しながら進めてまいります。



凡例
- 堤防決壊箇所（県管理）
- 堤防・護岸等被災箇所
- 改良事業箇所（築堤・掘削等）
- 大臣管理区間
- 令和2年7月豪雨浸水範囲

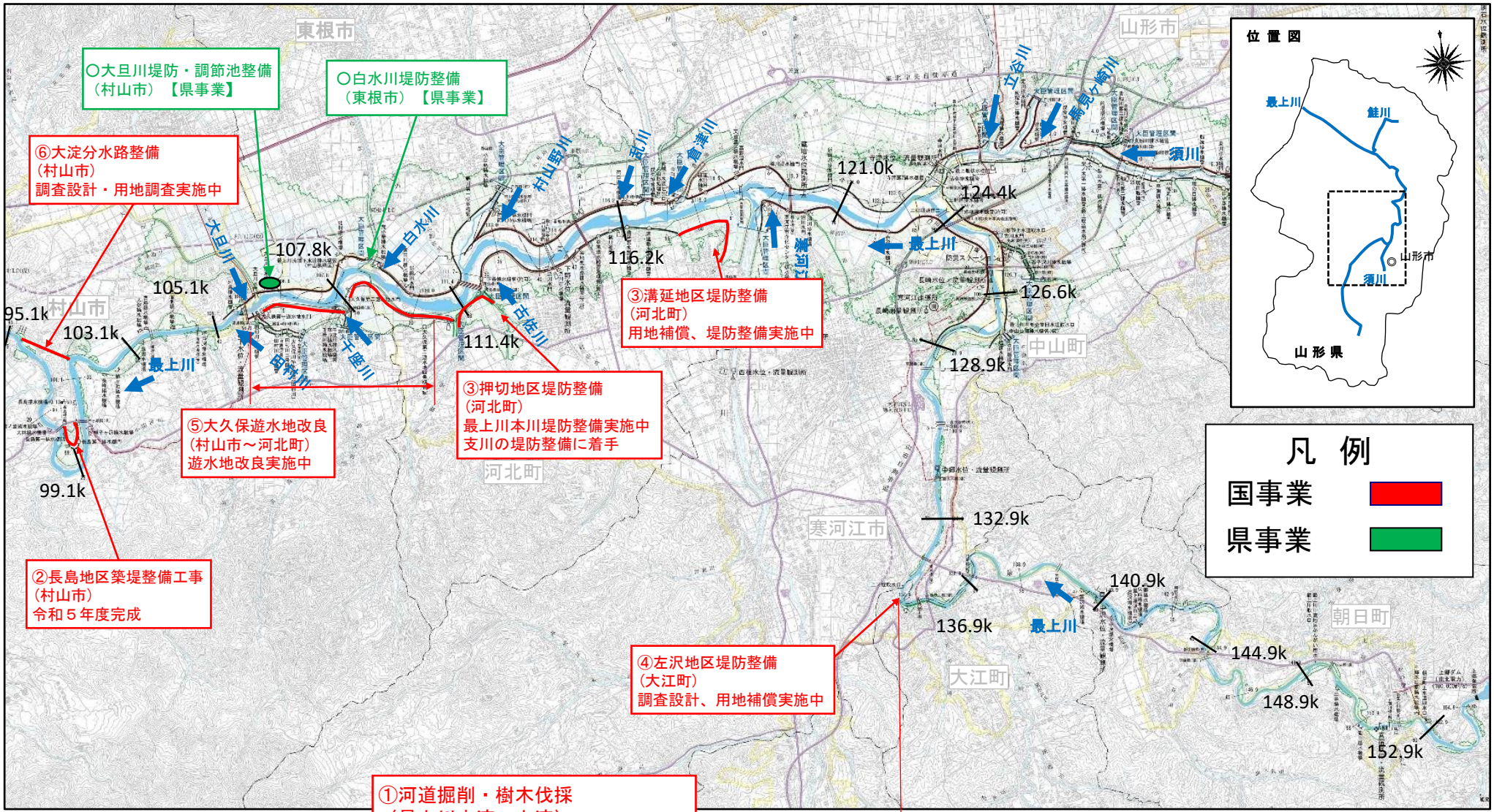


■事業費　約568億円（国管理区間）
■事業種別
○災害復旧
　最上川中流
　　全体事業費　約51億円
　　事業期間　令和2年度～令和3年度
　最上川上流
　　全体事業費　約11億円
　　事業期間　令和2年度～令和3年度
○大規模災害
　最上川中流
　　全体事業費　約146億円
　　事業期間　令和2年度～令和11年度
　最上川上流
　　全体事業費　約354億円
　　事業期間　令和2年度～令和11年度
○推進費
　　全体事業費　約6億円
　　事業期間　令和2年度～令和3年度

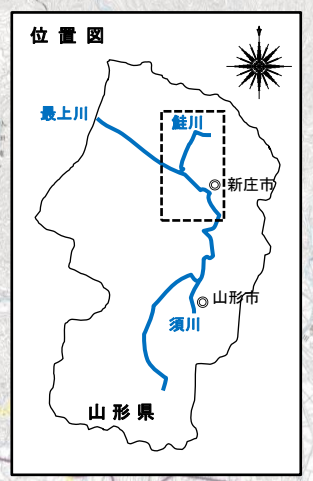
■全体事業費
約656億円

■事業費　約88億円（県管理区間）
■事業種別
○災害復旧　全体事業費　約62億円（県内242箇所）
　　事業期間　令和2年度～令和4年度
○改良復旧　全体事業費　約26億円（白水川、大旦川）
　　事業期間　令和2年度～令和4年度

緊急治水対策プロジェクト　主要事業箇所



緊急治水対策プロジェクト　主要事業箇所



⑦横山・大石田地区堤防整備
（大石田町）
用地調査・用地補償・橋梁工事実施中

①河道掘削・樹木伐採
〈最上川中流・上流〉
全体約90万㎥の掘削を目指し実施中

⑧白須賀地区堤防整備
（大蔵村）
令和３年度完了

凡　例
国事業

5

①　河道掘削（大江町～新庄市）

氾濫をできるだけ防ぐ
・減らすための対策

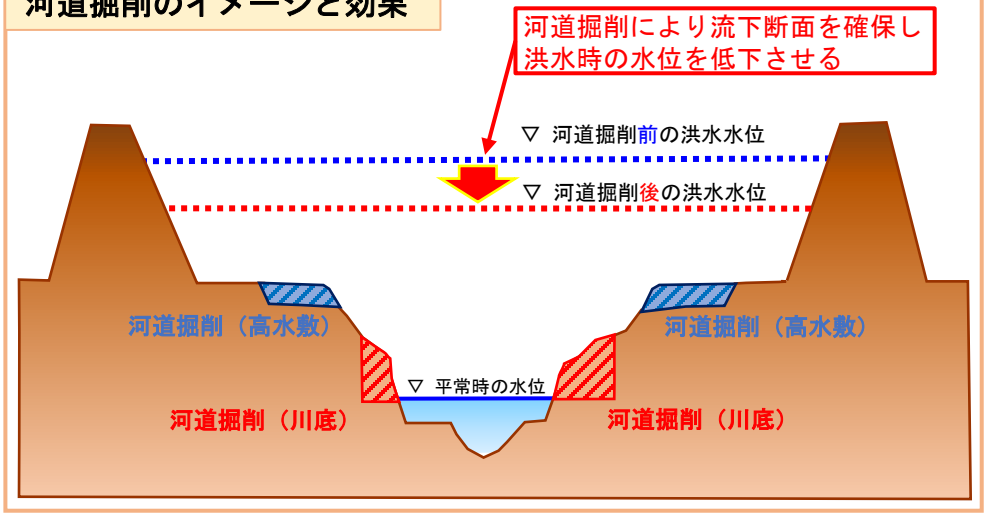
○最上川本川で「河道掘削」に着手し、現在推進中。全体計画約９０万m^3のうち、
本年度までに約７５万m^3（約８割）の掘削を目指し施工中。

工事実施状況





河道掘削のイメージと効果



令和４年度完了箇所

河道掘削前



河道掘削後



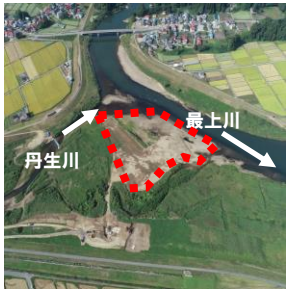
最上川上流吉田地区（河北町）

令和５年度完了箇所

河道掘削前



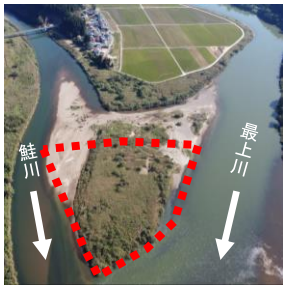
河道掘削後



最上川中流大石田地区（大石田町）

令和６年度完了箇所

河道掘削前



河道掘削後



最上川中流戸沢上流地区（戸沢村）

② 長島（ながしま）堤防整備

氾濫をできるだけ防ぐ
・減らすための対策

○河川からの氾濫を防止するため「堤防整備」を実施し、令和５年６月完成。

施工前

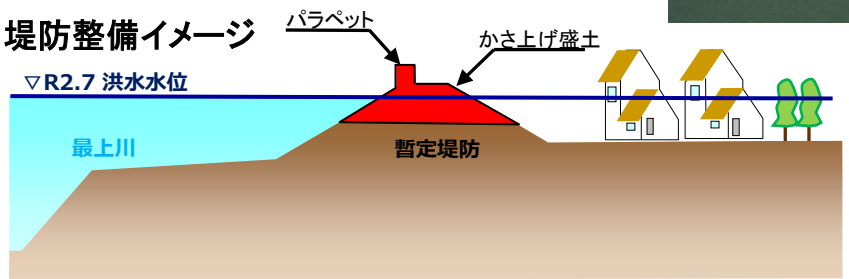


完成箇所





堤防整備イメージ

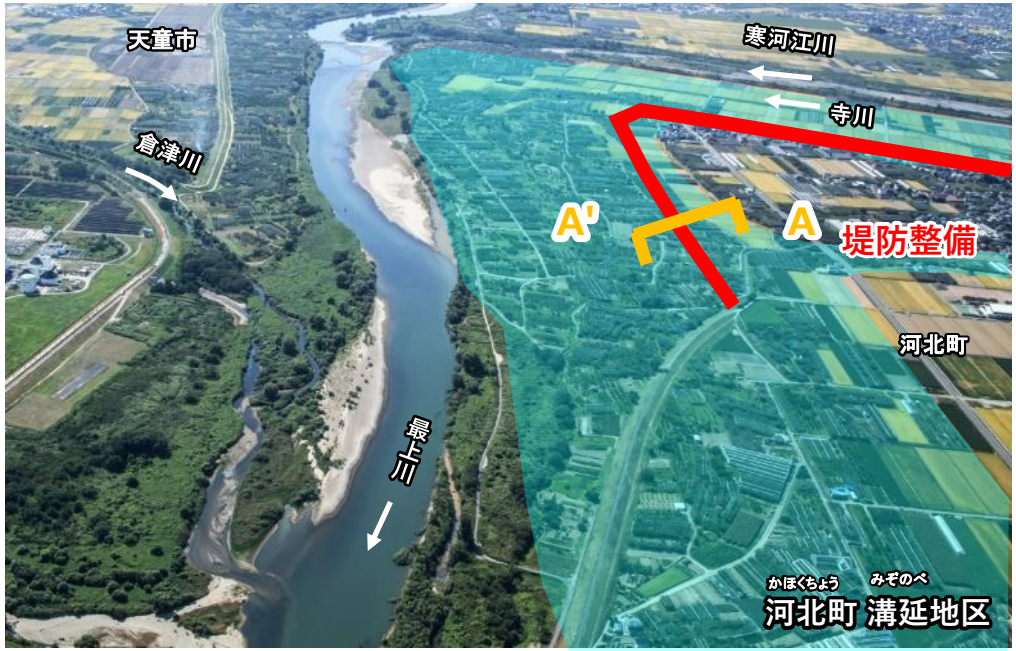


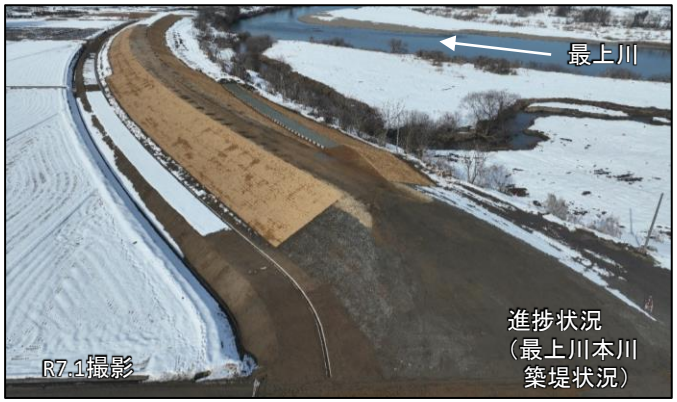
③ 押切堤防整備　溝延堤防整備

氾濫をできるだけ防ぐ
・減らすための対策

○河川からの氾濫を防止するため「堤防整備」を実施。
押切地区において最上川本川の堤防が概成、支川古佐川、支川法師川の築堤工事を実施中。
溝延地区においては築堤工事に着手。

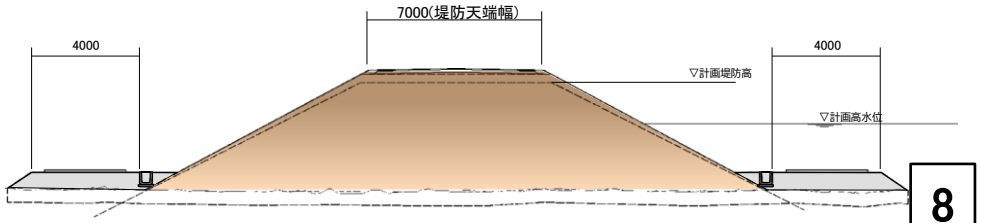






整備箇所
令和2年7月 浸水範囲

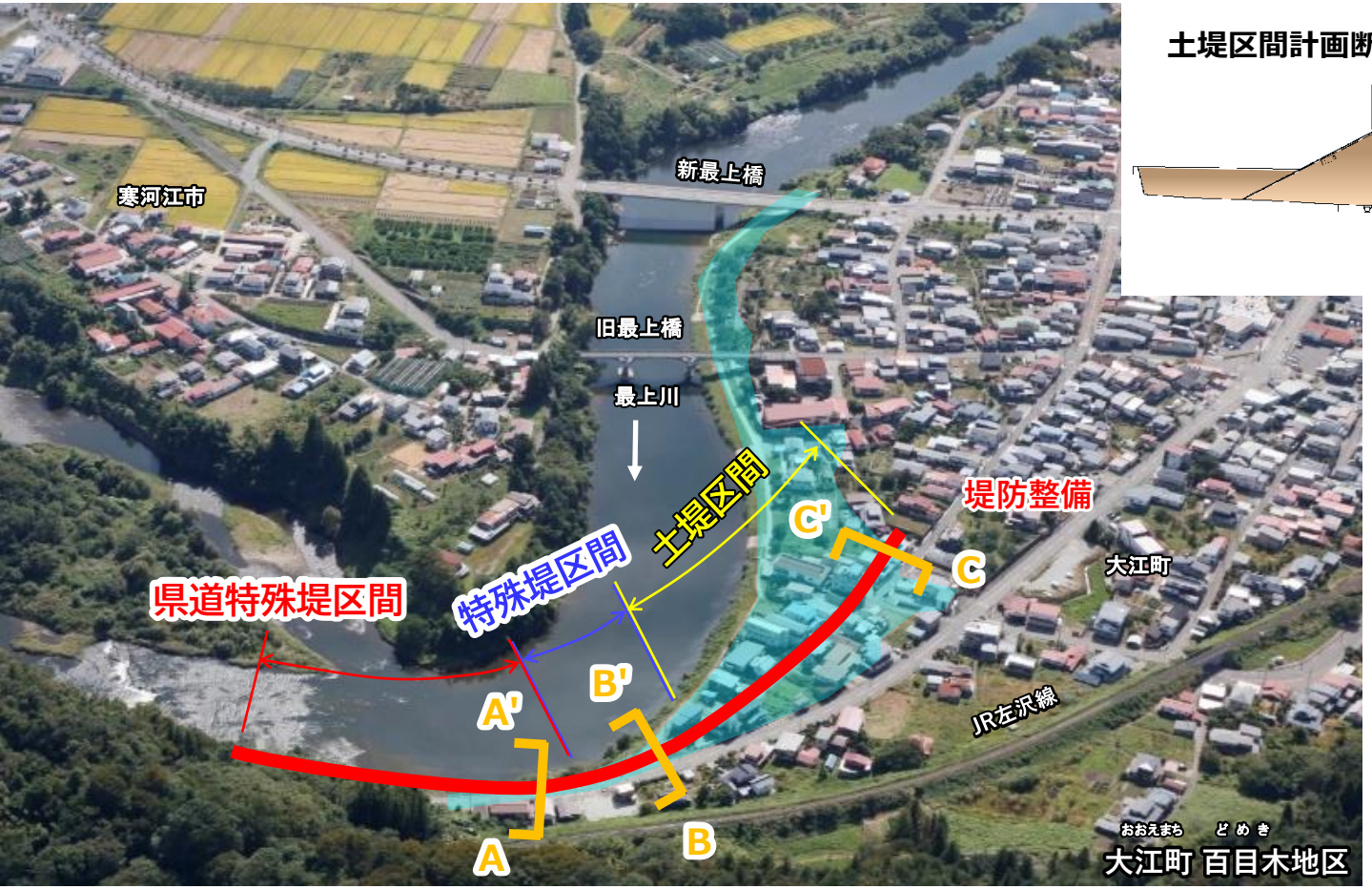
輪中堤標準断面図
A-A'断面(最上川側)



④ 左沢（百目木）堤防整備

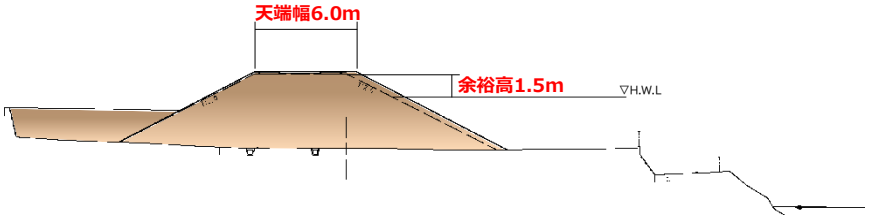
氾濫をできるだけ防ぐ
・減らすための対策

○河川からの氾濫を防止するため「堤防整備」を実施。
　早期の工事着手に向け設計および用地補償を実施中。

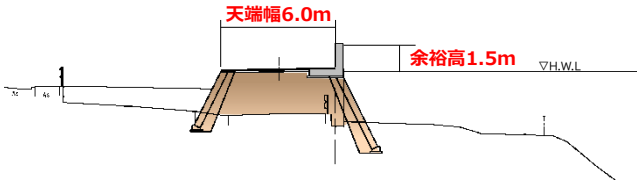


整備箇所
令和2年7月 浸水範囲

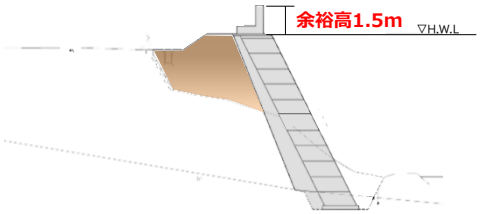
土堤区間計画断面図 C-C'断面



特殊堤区間計画断面図 B-B'断面



県道特殊堤区間計画断面図 A-A'断面



⑤　大久保（おおくぼ）遊水地改良

氾濫をできるだけ防ぐ
・減らすための対策

○下流区間の河川水位を低減させるため「遊水地改良」を実施。
　今年度越流堤改良工事を実施中。





※遊水地改良の構造等は、今後の詳細検討により決定します。

⑥ 大淀分水路（おおよど）

氾濫をできるだけ防ぐ
・減らすための対策

○洪水流下のネック箇所となる大淀地区に「分水路整備」を実施。
　早期の工事着手にむけ、設計業務および用地調査等を実施中の実施。



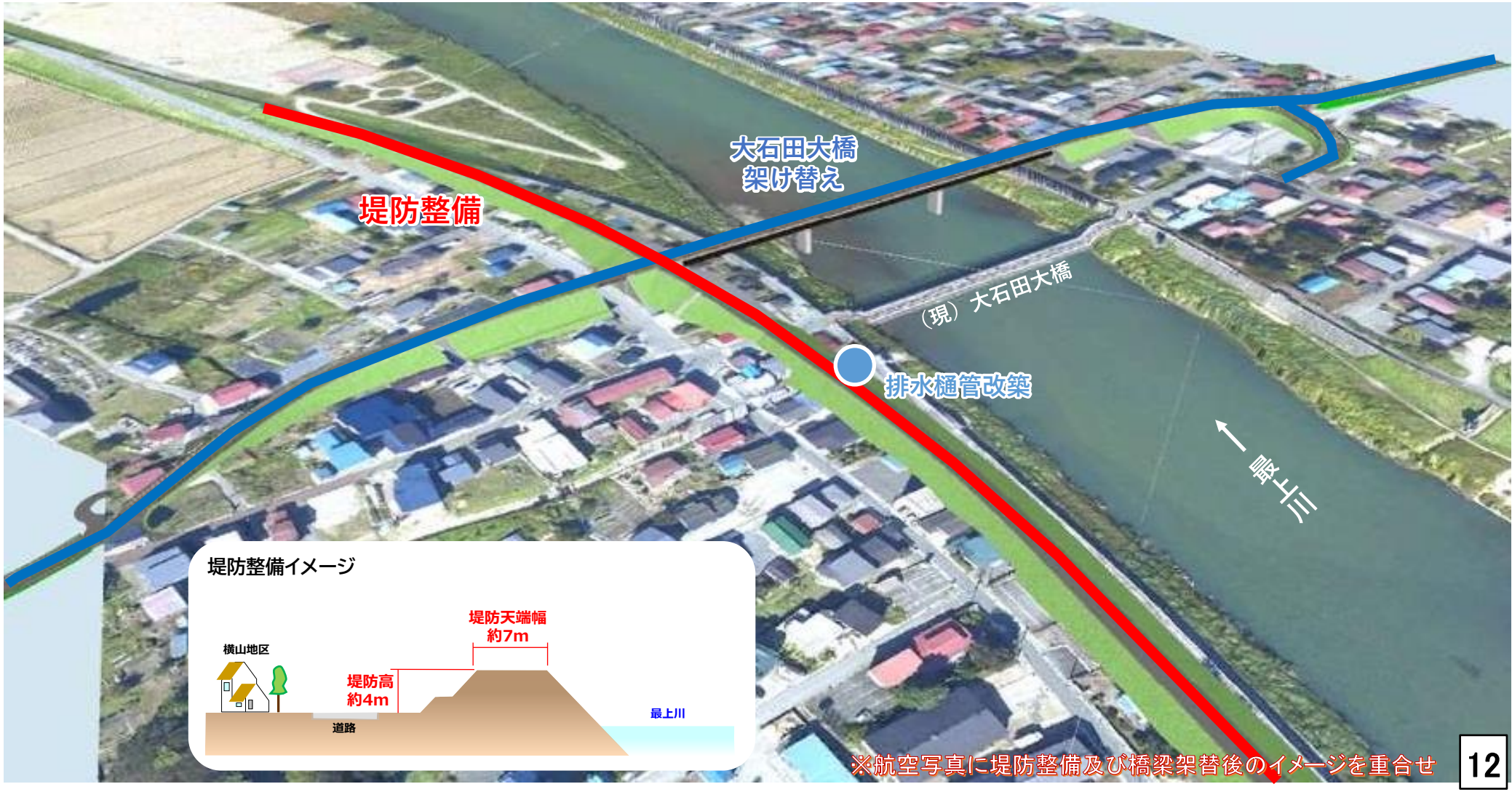

地元説明会（令和7年3月17日実施）

※分水路の法線・断面等は、今後の詳細検討により決定します。

⑦ 横山（よこやま）・大石田（おおいしだ）堤防整備（大石田町）

氾濫をできるだけ防ぐ
・減らすための対策

〇河川からの氾濫を防止するため「堤防整備（引堤）」を実施。
現在、堤防整備に伴う用地調査、用地補償を実施中。また、橋梁架け替え工事に着手



※航空写真に堤防整備及び橋梁架替後のイメージを重合せ

⑧白須賀（しらすか）地区堤防整備（大蔵村）

氾濫をできるだけ防ぐ
・減らすための対策

○河川からの氾濫を防止するため「堤防整備（堤防嵩上げ）」を実施し、令和４年３月完成。



大旦川堤防・調節池整備、白水川堤防整備 【山形県】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

大旦川
（村山市河島　外）

【被災状況(R2. 7月)】
浸水面積406ha
床上浸水29戸、床下浸水14戸

- 最上川水位上昇に伴い大旦川水門が閉鎖し、浸水被害が発生
- 令和5年6月22日に調節池を一部運用開始



被災状況(R2.7月)



大旦川の水を一時的に貯めることで、
令和2年7月規模の豪雨での家屋浸水を解消

調整池・一部運用開始状況

白水川
（東根市松沢　外）

【被災状況(R2. 7月)】
浸水面積220ha
床上浸水5戸、床下浸水20戸

- 最上川のバックウォーターで堤防決壊し、浸水被害が発生
- 令和4年度末に堤防復旧・嵩上げが完成



被災状況(R2.7月)



堤防復旧・嵩上げ完成状況

【進捗状況の見える化】県管理河川の河川整備状況

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 近年洪水に対し浸水被害の解消を図るため、国土強靱化予算等を活用し、概ね10年（令和2年度～11年度）で35河川37か所について集中的に河川整備を実施中

令和6年度までに11か所が完成

- 令和4年8月や令和6年7月大雨で被災した3河川3か所については、再度災害防止のため「改良復旧」を実施中

進捗状況の見える化（県HPでR6.4から掲載）

⑮ 大旦川（おおだんがわ）／村山市　進捗状況【令和7年3月】 事業全体 8【工事】進捗率65% うち、流域治水プロジェクト整備 8【工事】進捗率32%

拡大



38河川40か所について箇所ごとの進捗状況を公開

▼県ホームページに掲載する河川整備進捗状況はQRコードからアクセス可能



集中的に河川整備を実施する箇所

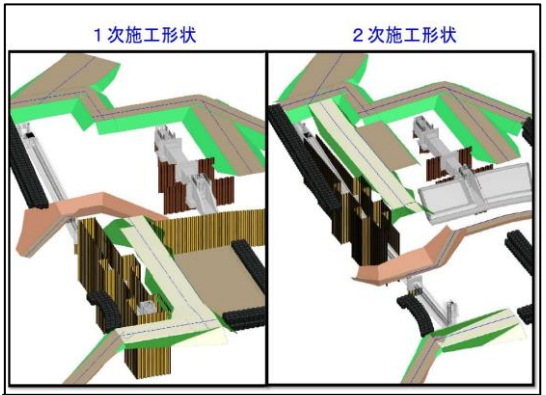
ICT施工の推進・掘削土砂の活用

○国土交通省全体でi-constructionの推進に取り組んでおり、本プロジェクトにおいてもICT建設機械による施工や、3次元データを活用した施工形状確認等を実施し、生産性の向上を図っている。
○掘削した土砂は、堤防整備工事の盛土材として活用。

■ ICT施工の推進



3次元データ作成状況



3次元データを活用し施工ステップ確認



ARによる完成形確認

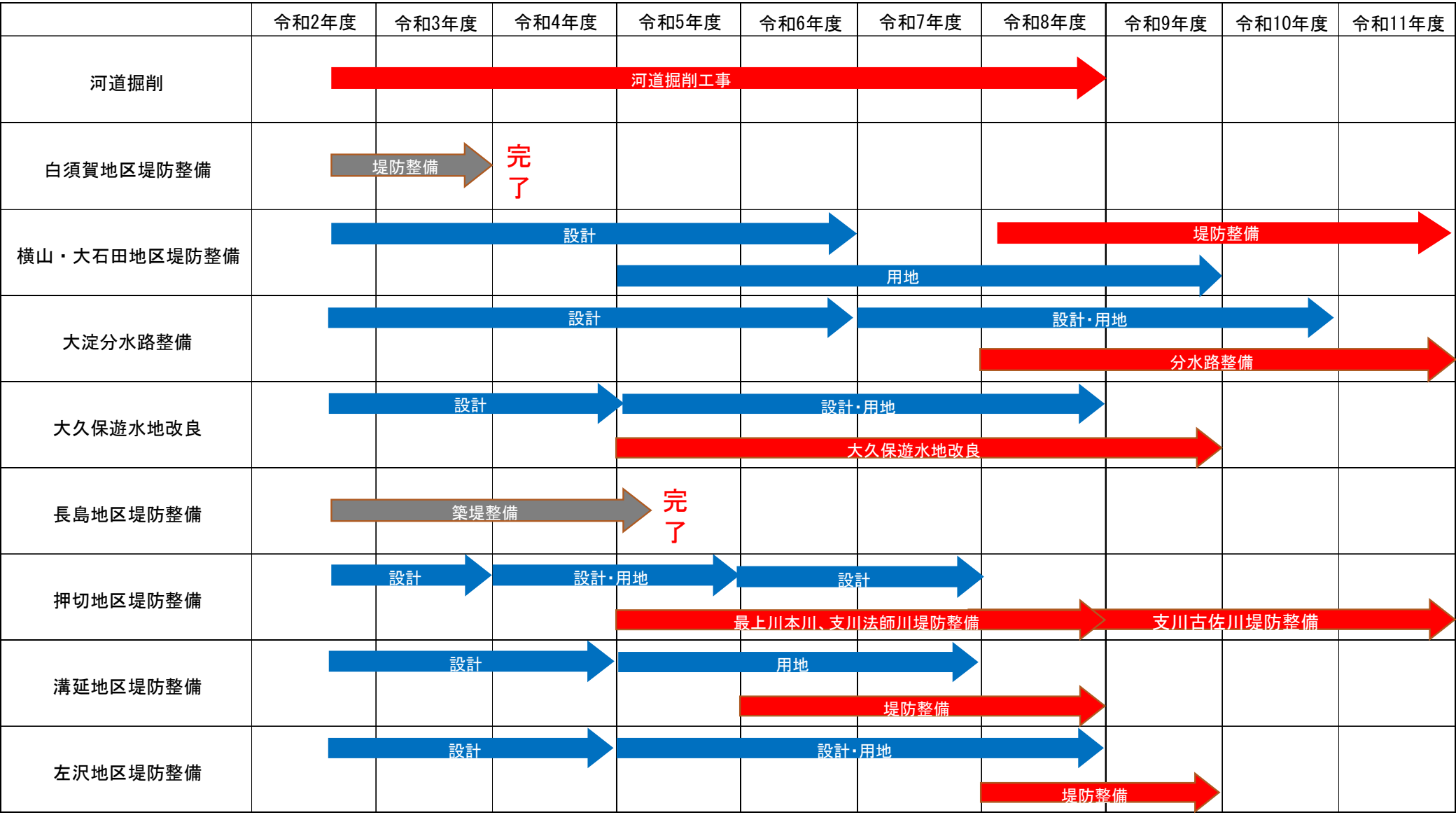
■ 掘削土砂の活用





河道掘削工事において掘削した土砂を、堤防整備工事の盛土材として活用

緊急治水対策プロジェクトの予定



※現時点の予定であり、今後の事業進捗によって変更となる場合があります。

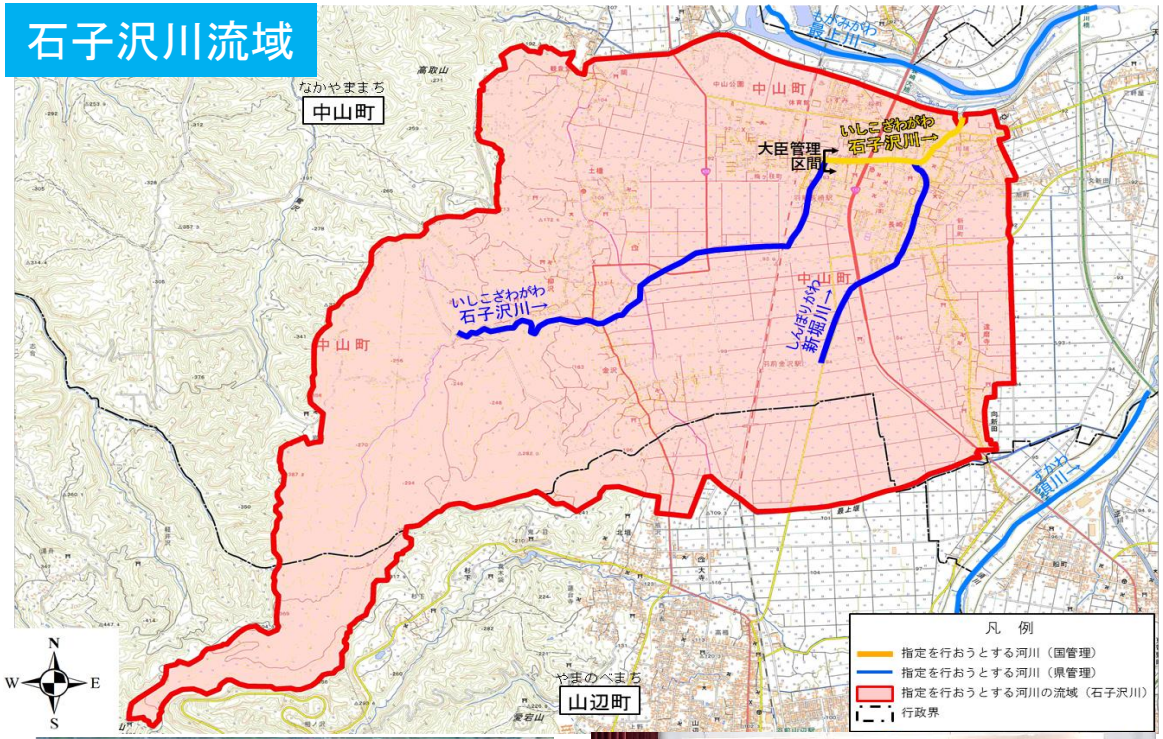
最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト進捗状況

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

特定都市河川指定・流域水害対策計画策定

法的枠組みを活用した流域治水を推進するため、令和６年３月５日に最上川水系石子沢川等を特定都市河川に指定しました。
令和６年４月２４日流域水害対策協議会（発足会）を開催。第２回協議会で計画（素案）を示し、パブリックコメントを実施しました。
令和７年３月２６日の第３回協議会において「石子沢川流域水害対策計画」を策定しました。

石子沢川流域





令和２年７月豪雨時の最上川の状況（中山町付近）



【最上川上流】石子沢川流域水害対策協議会
（中山町、R7.3.26）

これまでの経緯

令和３年12月13日　石子沢川流域治水勉強会　設立

これまでの度重なる浸水被害を踏まえ、流域治水の推進を図るため、石子沢川流域治水勉強会を設立し、石子沢川における特定都市河川指定に向けた取り組みについて議論を開始

令和５年７月31日　第8回最上川水系流域治水協議会

第8回最上川水系流域治水協議会において、石子沢川を先行して、令和5年度内の特定都市河川に指定し、他河川のモデルとなるよう流域治水の取組を進めていくことを、参加した市町村長・各機関から同意を得て手続きを開始

令和６年１月17日～２月７日　法定意見聴取を実施

特定都市河川指定に係る法定意見聴取開始
国土交通大臣⇒県知事・町長

令和６年３月５日　指定

特定都市河川・流域の指定

令和６年４月24日

石子沢川流域水害対策協議会の設置

令和７年２月21日

第２回　石子沢川流域水害対策協議会を開催
「石子沢川流域水害対策計画（素案）」策定

令和７年２月25日～３月11日

パブリックコメント、住民説明会の実施

令和７年３月26日

第３回　石子沢川流域水害対策協議会を開催
「石子沢川流域水害対策」策定

最上川中流･上流緊急治水対策プロジェクト進捗状況

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

特設WEBサイト充実化

緊急治水対策プロジェクトの内容や取組み状況を紹介するとともに、復旧状況を確認できます。

【最上川中流・上流
緊急治水対策プロジェクト】
（http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/river/project/）

◂ スマートフォン等からのアクセスは、このQRコードからできます。



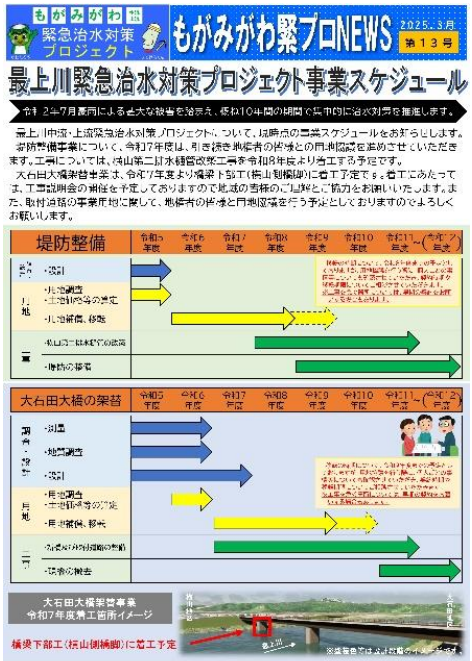
【最上川下流・中流
緊急治水対策プロジェクト】
（https://www.thr.mlit.go.jp/sakata/office/works/river/chisuitaisaku.html）

◂ スマートフォン等からのアクセスは、このQRコードからできます。



もがみがわ緊プロNEWS

治水対策事業に関する情報発信ツールとして、もがみがわ緊プロNEWSを発行（現在第１４号まで発行）。事業進捗状況や今後のスケジュール等の情報をお知らせしている。





最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト進捗状況

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

巡回パネル展

水害からの備えを忘れないよう、令和2年7月豪雨や令和６年７月出水の振り返りとして巡回パネル展を開催中です。
（６月２３日～９月２日）



村山市役所市民ホールでの
パネル設置状況（6月23日）



大石田町町民交流センター「虹のプラザ」での
パネル設置状況（7月7日）



開催担当	会場	開催期間
山形県	山形県生涯学習センター遊学館	8/7(木)～8/19(火)
山形県	山形県村山総合支庁	7/22(火)～7/31(木)
山形県	山形県村山総合支庁 西村山地域振興局	7/1(火)～7/14(月)
山形県	山形県村山総合支庁 北村山地域振興局	7/22(火)～8/6(水)
山形県	山形県置賜総合支庁	8/5(火)～8/15(金)
山形県	山形県置賜総合支庁 西置賜地域振興局	7/7(月)～7/18(金)
山形県	山形県庄内総合支庁 1階ロビー	8/19(火)～8/25(月)
新庄市	新庄市民プラザ	6/23(月)～7/4(金)
村山市	村山市役所 市民ホール	6/23(月)～7/4(金)
河北町	河北町役場 1階町民ホール	6/23(月)～7/4(金)
最上町	最上町中央公民館 玄関ロビー	6/23(月)～7/4(金)
舟形町	舟形町中央公民館	6/23(月)～7/4(金)
大江町	大江町町民ふれあい会館 1階ホワイエ	6/24(火)～7/4(金)
酒田市	酒田市総合文化センター	6/25(水)～7/1(火)
鶴岡市	鶴岡市役所 1階ロビー	7/3(木)～7/9(水)
尾花沢市	尾花沢市民図書館	7/7(月)～7/18(金)
大石田町	大石田町町民交流センター「虹のプラザ」	7/7(月)～7/18(金)
寒河江市	寒河江市ハートフルセンター	7/8(火)～7/22(火)
東根市	さくらんぼ東根駅前自由通路	7/8(火)～7/22(火)
山辺町	山辺町役場 1階ホール	7/8(火)～7/22(火)
三川町	三川町子育て交流施設テオトル	7/11(金)～7/17(木)
大蔵村	大蔵村中央公民館 1階ロビー	7/22(火)～8/1(金)
鮭川村	鮭川村役場	7/22(火)～8/1(金)
戸沢村	戸沢村役場	7/22(火)～8/1(金)
庄内町	庄内町役場 A棟本庁舎１階ロビー	7/22(火)～7/28(月)
中山町	中山町立図書館「ほんわ館」ギャラリー	7/24(木)～8/5(火)
白鷹町	白鷹町中央公民館 町民ラウンジ	7/24(木)～8/5(火)
遊佐町	遊佐町 生涯学習センター	7/30(水)～8/5(火)
金山町	金山町中央公民館 1階ロビー	8/4(月)～8/18(月)
川西町	川西町役場 1階展示スペース	8/6(水)～8/19(火)
南陽市	南陽市役所 1階市民ロビー	8/7(木)～8/19(火)
真室川町	真室川町中央公民館	8/18(月)～9/1(月)
米沢市	米沢市役所 1階市民ホール	8/21(木)～9/2(火)
長井市	長井市役所 1階市民ホール	8/21(木)～9/2(火)

県内34箇所で実施
（県内全域の巡回は初）

イベント時における水防災啓発活動

日本一の芋煮会などイベント開催時における水防災啓発活動（降雨体験など）を実施します。





小学生向け防災講座

自分達が住む地域の水害の可能性や、洪水への事前の備え、避難の重要性に関する防災授業を行いました。



防災教育（座学）状況
（６月２０日山形市立南小学校）



浸水体験長靴実施状況
（６月１６日河北町立溝延小学校）

最上川中流･上流緊急治水対策プロジェクト進捗状況

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

まるごとまちごとハザードマップ 痕跡表示

近年洪水での被害の記憶を風化させないため、浸水被害のあった河北町溝延地区に痕跡看板を設置しました。





最上川中流重要水防箇所 合同巡視

本格的な洪水期を前に、多発する水災害への備えとして、県、市町村の関係機関並びに水防団等と合同で、重要水防箇所の巡視を実施しました。



鮭川村長からの挨拶



毒沢堤防（猿羽根大橋左岸上流）

最上川上流危機管理演習

本格的な洪水期を向かえるにあたり、多発する水災害への備えとして、関係市町及び山形県、国土交通省と連携して、実践的な危機管理演習を行います。





最上川中流洪水対応演習

本格的な洪水期を向かえるにあたり、多発する水災害への備えとして、関係市町村と連携して、洪水対応演習を行いました。





最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト進捗状況

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

水害リスク情報空白域の解消（洪水浸水想定区域の追加指定）

県は、令和元年度までに指定した70河川に加えて、令和６年6月に村山地域の127河川を指定し、令和7年5月に最上、置賜、庄内地域の357河川を指定しました。

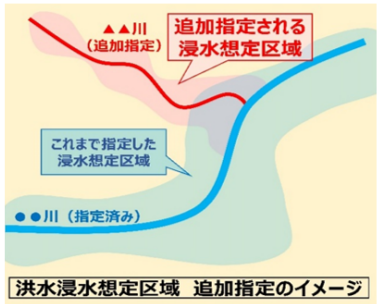
- 県ホームページに掲載する洪水浸水想定区域図はQRコードからアクセス可能

村山地域は令和6年6月14日に指定

最上・置賜・庄内地域は令和7年5月23日に指定

令和7年5月に、県管理河川すべての洪水浸水想定区域の指定が完了

- 河川を管理する国土交通省や県は、水防法に基づき、**河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を「洪水浸水想定区域」に指定**しています。
- これまで、最上川や赤川等、水防上重要な河川（※１）で指定してきましたが、令和３年に水防法が改正され、**すべての河川**（※２）**が指定の対象**となりました。
- **県は、**令和元年度までに指定した70河川に加えて、**中小河川等484河川を令和7年5月までに指定が完了**しています。
  - 村山地域 127河川は令和6年6月に指定
  - 最上,置賜,庄内地域 357河川は令和7年5月に指定
- 洪水浸水想定区域は、**市町村のハザードマップにより県民へ周知され、命を守る行動に役立てられます。**



洪水浸水想定区域　追加指定のイメージ

洪水浸水想定区域 ＋ 避難に役立つ情報（避難場所、避難路など） ＝ 洪水ハザードマップ

河川管理者（国土交通省・県）が指定します　　市町村が作成・配布します

- **洪水浸水想定区域の追加指定は、これまで未指定だった中小河川等の氾濫リスクを示し、「河川の氾濫リスク情報空白域」の解消を図ることで、避難行動に役立てていただくための取組です**
- **「氾濫する範囲がこれまでよりも増える」「地域の災害リスクが増大する」ことではありません**

※１ 水防法第11条第1項の洪水予報河川、第13条第2項の水位周知河川　※２ 国土交通省及び県が管理するすべての河川

洪水浸水想定区域とは（水防法第14条第2項）

- 洪水浸水想定区域は、**想定し得る最大規模の降雨により河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域**を地形等をもとにシミュレーションしたものであり、想定される浸水深と併せて公表します。
- **「想定し得る最大規模の降雨」**とは、国土交通省の基準による**発生確率が1,000年に１回程度**の大きな降雨規模のことで、追加指定する河川についても条件は同じです。
- これは、**施設では守り切れない事態においても、少なくとも命を守ることを目指す**ために、極めて大きな洪水を想定しているものです。



洪水浸水想定区域の確認方法

- 洪水浸水想定区域は、各総合支庁建設部各河川砂防課、県土整備部河川課、及び山形県ホームページ（ホーム>くらし・環境>社会基盤>河川・ダム）から閲覧できます。

県民の皆様へのお願い

早めの情報収集が「命を守る行動」につながります

- 追加指定される区域だけでなく、すでに指定された区域においても、**河川の氾濫リスクをご理解いただき、大雨に対する心構えを高めていただくようお願いします。**
- 大雨が予想される場合は、**気象台が発表する防災情報（「キキクル」等）、県が提供する「河川・情報システム」等の河川水位情報、市町村が発表する避難情報等を確認いただき、迅速・的確な避難を心がけてください。** ※裏面もご覧ください

